（様式２　別添２）

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号  ※記載不要 |  |

令和６年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金

（ウクライナ復興支援・中東欧諸国等連携強化）

実証予算積算の理由書

実証事業の実施に当たっては、次の考え方により補助対象経費を積算しています。

記

1. 経費区分

〇実証事業において必要となる経費の区分全ておよび補助対象経費金額（円）を以下に列挙してください（「様式2 別添1 事業計画書」と整合させて記載してください）。

1. ○○費 / △△△円
2. ○○費 / △△△円
3. ○○費 / △△△円
4. 積算の考え方

〇上部に列挙したそれぞれの経費区分全てについて、下記観点を踏まえて積算の考え方を可能な限り具体的且つ詳細に記述してください。

1. 経費の目的  
   その経費が実証事業において必要である理由
2. 経費の内訳  
   具体的な経費の使用用途
3. 金額の妥当性  
   実際の見積りや類似事業等をふまえた額（円\*）の妥当性  
   ＊外貨建て価格を円貨としている場合、前提となる為替レートも補記してください
4. スケジュール  
   実証事業における費用発生のタイミングの目安

|  |
| --- |
| （記述例）   * 1. 経費の目的 実証初期段階のデータ収集を行うために、導入予定のセンサー機器は重要な役割を持つ。また、データ精度を担保するために、一定の品質を持った機器の導入が不可欠となる。   2. 経費の内訳 実証において必要となるセンサー機器（XX社製）を、〇〇台導入予定。   3. 金額の妥当性 過去の自社実施事業において同様のセンサー機器を購入した際、一台あたりXX円であった。近年の半導体不足や物価高騰を踏まえると、一台当たりYY円での導入が想定される。   4. スケジュール 実証事業の初期段階（事業開始後１～３か月目）において発生予定。 |

1. ○○費

【記述欄】

|  |
| --- |
|  |

1. ○○費

【記述欄】

|  |
| --- |
|  |

1. ○○費

【記述欄】

|  |
| --- |
|  |